



—— 座談会 ——

# ファクトリーツーリズム 「CRASSO」について

【出席】

榎原工業(株)／代表取締役

**榎原 拓史氏**  
(高松第9支部)

(株)グッドワーク／代表取締役

**平井 陽介氏**  
(三木支部)

タナカ印刷(株)／代表取締役

**田中 英城氏**  
(東讃支部)

【司会】 広報・情報化委員会

(株)STPF／取締役

**太田 宗一朗氏**  
(高松第5支部)

香川の地で生まれ培われてきた地場産業や伝統工芸。それぞれに歴史を刻みながら今へと続く商店や工場、職人や技術者のものづくりに光をあて、地域の中に点在するものづくり企業が一つになって、その魅力を発信するファクトリーツーリズム「CRASSO(クラッソ)」。その運営に携わる皆さんの本音トークをお届けします。

**CRASSOについて**

**司会** 早速ですが、まず最初に「CRASSO」とは何?というところからお聞かせください。榎原さんお願いします。

**榎原** 簡単に言うと工場見学を中心とした観光イベントで、地場産業や伝統工芸など、地域に根差したもののづくりの現場を一般の方に公開し、その魅力を感じてもらい取り組みになります。受け入れ側の企業にとっては社員の家族や学生、近所の方など地

域の方をはじめ、ものづくりに興味のある地域外の方にも自社やものづくりの魅力を知っていただく、またとない機会になっています。

地域が一体になった活動なので、業種の異なる様々な企業を回って見ていただけますし、宿泊施設や飲食店などの利用にも繋がるというメリットもあります。

**司会** たしかに地域に密着しているのはいいと思います。

**榎原** 一社だけではなかなか来ていただくことは難しいですが、地域の企業何社かが同時に参加することで発信力が倍増します。今回は3日間の開催でのべ1600人の方にご参加いただけました。参加いただいた方の中には県内だけでなく愛媛や高知、さらには関西圏から家族連れで来られる方もいらっしゃいました。

弊社でも今回のイベントを機に、新しいことに取り組ん

だり、近所の人たちが気軽に立ち寄ってくれるようになるなど、思いがけないプラス材料があります。

**司会** ありがとうございます。平井さんはどのように受け止めていますか。

**平井** まず大きなメリットは会社同士の横の繋がりができたことです。同じ地域でありながら、今まで全然知らなかった会社をCRASSOに参加したことで見学に訪れたりできるので、とても勉強になりました。今後はせっかくできたこの繋がりを大事にしていきたいと思っています。

**司会** 地元でそういう輪ができるのはいいことですし、職人さんたちの輪ができるのも魅力的だと思います。

### CRASSO設立の経緯と目的

**司会** 続いて、CRASSOを始めることになったこれまでの経緯と目的についてお聞きします。田中さんお願いします。

**田中** そもそも始まりは、2年前の香川県経営研究会です。そのとき、本気で地域課題の解決をどうこうと、新しいビジネスモデルをつくって地域課題解決に取り組みことになりました。そこから議論を重ねて出てきたのがCRASSOです。

東讃地域は縫製業を中心にものづくりが盛んな土地柄ですが、コロナ禍で売り先が減少してしまい、こうしたものか頭を抱えていた状況の中、セトウチメーカーズの取り組みが生まれました。私自身、セトウチメーカーズに関わることで、地場産業である手袋の縫製技術を初めて間近に見て感動したというか、高い技術力に非常に驚きました。消費者の方にも私と同じようにものづくりの現場を実際に見てもらうことで、職人さんの技術やものづくりに込められた想いを知ることができ、商品やブランドの価値が

向上するのではないかと考えました。それを実現したのが工場見学を観光化したファクトリーツアーリズムCRASSOになります。

同友会から生まれた取り組みにはなりますが、運営は実行委員会形式を取っており、同友会の会員企業だけに限らず、地域の企業に自由に参加いただくことで自治体や行政とも連携しながら活動しています。

### CRASSOに参加

**司会** わかりやすい説明、ありがとうございます。ところで「オーブンファクトリーCRASSO/2023」が昨年11月23日から25日の3日間の開催

でしたが、全体の印象はいかがでしたか。苦労した点などあれば聞かせてください。

**平井** 弊社の場合は段ボールのパッケージや印刷機などを見てもらいましたが、特に印象に残ったのは親子連れの方です。小学2年生のお子さんと朝から6社回って弊社は7社目とのことでした。見学中にお父さんが「香川県って面白いものづくりの会社がいっぱいあるんですね。知りませんでした」と言われました。もし小学生の息子さんが大きくなると「町工場で働きたい」と言ったら「よしっ、行っ



平井陽介氏

といで」と背中を押してくれるのではないかと、そんなことを想像しました。町工場でも働く私たちを知ってもらったり、技術を見てもらうなど、仕事の内容を理解してもらったことで次に繋がるような気がしました。

翌日は地域の別のイベントに参加したのですが、そこにも前日の親子連れが来てくれました。見学者はそれほど多くありませんでしたが、それでも参加した意味はあったと思っています。

**司会** やはり見てもらわないとわからないですよね。  
**平井** たしかにそうです。会

社では三木高校のインターシップなどをやっているのですが、社員さんたちは、案外気楽な感じで「どういう内容にしましょうか」「三木高校と一緒にいいですか」等々、反対意見もなく、すんなりと受け入れてくれました。

**司会** 榎原さんは、どうでしたか。

**榎原** 弊社は6月のプレ開催を経験した上での参加だったのですが、工場見学は普段から受け入れをしているので、来られる方に少しでも楽しんでもらえたらということ、見学プラス縫製を体験ということ、縫製の速度の速さを実際

に体験してもらいました。

2日間で50人余りの見学者がありました。職人さんたちは話が苦手な人が多いので少し抵抗があったようですが、いつのまにか慣れて結構スムーズに流れていたように思います。

見学者の方から職人さんにいろんな質問が投げかけられるのですが、職人さんにとってはただ無意識に取り組んでいる作業でも、いろんな質問に答えていくうちに、少しずつ意識が変わり、自分の仕事に誇りのようなものが生まれてきて、仕事にやりがいを感じるようになったように思います。

それから、CRASSOをする

ことで見学者の方が回りやすいようにという配慮から、社内の整理整頓や清掃が行き届きました。CRASSOが終わった後もその習慣は続いているので、弊社にとっては思わぬ収穫でした。

**司会** そうですね。定期的に来客があると意識も変わりますよね。ところで苦労した点がありますか。

**榎原** 前回からの課題としてワークショップをやったのですが、弊社の場合はどうしてもミシンを使うことになるので怪我をする危険があ



開催のもよう



開催のもよう



員が最終日には何と30分も自分の仕事を誇らしげに見学者の方に話し続けていたというそんな変化も見られました。

**司会** 経営者としては、社員意識の変化や仕事への取り組みの変化を目的の当たりどころでいい機会だったわけですね。

### 今後の展望と目標について

**司会** 最後に今後の展望と目標について伺います。田中さんお願いします。

**田中** 今回感じたことですが、やはり狭い地域のところに会社がたくさんあるほう

が、見学に来られるお客様が集まりやすいと思うので、まずは1社でも多くの会社に参加してもらいたいですね。

そうすれば、地域の中で同業種、異業種関わりなく、情報交換を始め、様々な交流が生まれますし、当然社員同士の交流もできると思いますが、また改めて地域を見直すきっかけにもなるはずですよ。

### 榎原 一社でも

多くの企業にCRASSOに取り組んでもらうことによつて、社

り、諦めざるを得ませんでした。あとは予約なしで来られる見学者が結構多かったの、見学者が集中して来られた時は対応が大変でした。これが一番苦労した点です。

**司会** 田中さんは、どうでしたか。

**田中** 弊社の場合は来る人によつて興味を持つところが異なるので、同じ説明をしても相手によつて反応が全く異なつてしまい、戸惑いました。見学者の反応に合わせて、説明の仕方や時間配分を変更する必要があることを痛切に感じました。

す。製造現場で働いている社員は普段、社外の人と話すことは殆どありません。どちらかという日々黙々と自分の仕事をしているといった感じですね。そんな状況の中で今回の取り組みがあったのですが、最初は見学者が来ても対応に戸惑うばかりで、2分も喋ったら後が続かない、用意した説明原稿を読み上げるといったような状況でした。

ところが、自分の普段の仕事振りに対する見学者の「おーっ」や「ほう〜」の感嘆が混じった驚きの声に社員の姿が変化していきました。最初は数分しか喋れなかった社



田中英城氏

員さんのやりがいや会社を見直すきっかけ、或いは製造業なら製造している商品の価値の向上に繋がっていくと思います。

どの企業であつても、そういった面では同じような思いで取り組めると思うので、それによって地域自体が盛り上がりますし、小さな一流企業ではありませんが、そういう企業があることを知ってもらえるので、それが香川に広がれば、香川に残りたいと思う若者や県外から移住してくる人たちが増え、香川県全体の活性化に繋がると思います。ですから、この取り組みが今後どんどん広がっていくことを願っています。

**田中** CRASSOをきっかけに同友会に入会していただいた会社もあります。

**檜原** とりあえず参加してみても、ちよつと違うなと思う人は離れていく可能性はありますが、地域で参加してくれる

企業が増えるとおのずと同友会の会員も増えますし、退会した人でも盛り上がりを見たら再入会を考えてくれるかもしれない。魅力あるものにして、参加者をどんどん増やしたいと思います。

**司会** 地域が活性化すると会社も元気になると思うので、そういうきっかけになればいいですね。

**平井** たしかにそういうところはあると思います。結局、自分ごとなんです。地域が盛り上がりれば自分の会社も元気になる。地域の未来と自社の未来は密接な関係なので、CRASSOの説明をするときも自分ごとのような感覚で捉えてくれたらと強く思います。地域の未来と自分たちの商売の密接な関係がわかってる人たちに今回は声をかけさせてもらったのですが、双方の関係を理解してもらえないこともありました。そのあたりも含めて、今後は広げて

太田宗一朗氏



いきたいと思います。

それから、我々のよ

うにもものづくりの会社と地

域の人たちがもつともつと近づいてくれたらという気持ちがあります。例えば、「ネット

通販で探してもいいけど、近

所のあの会社で作っているんじゃないか。一度聞いてみようか」というふうには、どんなブ

ランドを作っているかがわか

れば利用してもらえるので、

そのぐらいの関係性になれば

地域の人たちの見る目は大きく変わってくると思います。

これまでの発信力不足をこ

れから補っていきたいと思います。そのために皆んなでま

とまって、ものづくりを発信

していくことが非常に大事だ

と思うので、参加企業をどん

どん増やし、皆んなで良くなつていけたらと思います。

**司会** ありがとうございます。CRASSOとは何？から始めて、設立の経緯、運営と活動の内容、現況報告、今後の展望と目標についてそれぞれの立場からわかりやすく、なおかつ詳細に語っていただきました。

今回の特集が、CRASSO参加企業の増加にお役にたてれば幸いです。本日はどうもありがとうございました。